会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業（２）教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回教職員研修実施委員会 |
| 開催日時 | 令和5年7月14日（金）15:00～17:00 |
| 場所 | AP品川アネックス |
| 出席者 | 事業責任者：岡村　慎一、成底　敏　　　　　　　　　　計2名委　　　員：泉田　優、松田　義弘、栗林　直子、佐藤　善邦、藤井　達也、八木　信幸、及川　源太、能登　一秀、遠藤　和彦、　　　　　　　　　　　　　　計9名請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計12名 |
| 議題等 | 1.委員自己紹介（各自）2. 当委員会の年間スケジュールについて（飯塚）・委員会は5回（企画段階で3回、進捗確認で1回、研修後に1回）を予定している。・委員会は、対面2回で東京ベースのハイブリッドを予定している。3.令和 5 年度事業計画と役割分担（岡村）①FD 関連事例紹介セミナー 日程等：東京 10 月・福岡 11 月/ 時間：3 時間 /内容：内的動機付け事例紹介等 ②SD 関連事例紹介セミナー 日程等：東京 10 月・福岡 11 月/時間：3 時間 /内容：校務 ICT 活用事例紹介等 ③職業教育のマネジメントセミナー 日程等：オンライン 12 月、福岡 1 月、東京 2 月 時 間：３時間/内容：私学法改正・フォローアップ見直し等 ④自己点検・評価強化セミナー 日程等：オンライン 12 月、福岡 1 月、東京 2 月 時 間：３時間/内 容：自己点検・評価の改訂等 ⑤成果報告会 日程等：オンライン 2 月/ 時間：1 時間 /内容：事業中間報告【研修方針】・①と②、③と④はセット開催で予定したい。（泉田）・担当者の案として、①は 国際総合学園 佐藤先生・龍澤学館 及川先生、②は山本学園 遠藤先生・龍馬学園 泉田。③は国際総合学園 栗林先生・浦山学園能登先生、④ JAMOTEC 認証サービス 八木先生・麻生塾 松田先生にそれぞれ分担したい。（泉田）⑤の成果報告会は、龍馬学園 泉田・ＫＢＣ学園 成底先生が担当する。また、業界広報 職業教育・キャリア教育財団 藤井さんにお願いする。（泉田）・各委員にお願いする役割は、研修プログラムの設計、講師依頼、研修案内作成と広報、研修当日の運営、事後アンケート集計分析(簡単な実施報告書の作成)をお願いする。（泉田）・各セミナーのテーマは以下のことを考えている。（泉田）① 内的動機づけに関する好事例を収集・検討する･･･各委員在籍各校の事例を検討② 情報公開の好事例を収集・検討･･･各委員在籍各校の事例を検討③ 三菱総研の文科省委託事業のこれまでの成果を普及④ 八木先生に自己点検のモデル及び事例をレクチャーして頂く【意見交換】・3時間のセミナーの時間配分はどのように考えるのか（及川）・中田さんは1時間、その他は好事例2校程度、グループワーク1時間程度を考えている。（泉田）・そのやり方だと、いろんな情報交換ができると思うが、アクションプランにつながるのかが不安（及川）・アクションプランが作れるかがカギとなる。（佐藤）・中田さんはどのような話をするのか？想定される参加者は学校の管理責任者だと思っている。このため動機付けじゃ中田さんからの情報をもとに自身で持ち帰った情報を学内で展開すると思うが。（成底）・今回はセミナー形式ということなので、知識を身に着けてほしい。研修時間としては少し足りない気がするが、このセミナーを通じて参加者同士で仲間意識を作ってほしい。（岡村）・FDが初日、SDが2日目ということではなく、内容ベースで日程をしっかり考えてほしい。（成底）・この日程は、概ね決定している内容なのか、三菱総研との連携はどのようにすればいいのか（栗林）・三菱総研は、これまでの委託事業や研究の中で、事例収集をしているので、情報が豊富である。（泉田）・教学マネジメントと職業教育のマネジメントには違いがある。この部分について文科省から委託されて調査したのが三菱総研である。私も多少関与しているので情報を繋げて行きたい。（岡村）・SDでいう情報公開とは、HPからの数値的なことなのか（遠藤）・それだけではない。教育自体を表現することなども情報公開の一部となる。（泉田）・情報公開は職実課程の認定要件に入ってきたので、専門学校としても情報公開が進んできた。良い部分だけの情報公開だけでなく、公開することによって教育の好事例を生むようなことも含まれる。専門学校らしい情報公開とはなんぞやということを共有していきたい。（岡村）・テーマをどのように考えればいいのかが不安定。時期的なことなども視野に入れないといけない。（能登）・学校関係者評価委員会関係の情報なども視野に入れておく必要がある。（岡村）・GCB教育が事例として出ているが、内的動機付けの目的は何なのか？退学者を減らす、学習意欲を上げる等があると思うが、目的は何なのか。そもそもGCB教育は自分の未来を想定することによって学習同期を上げることとして考えている。（松田）・学生個人レベルの意欲の評価だということなのか（泉田）・個人ベースのものではあるが、目的はさらに多様である。ターゲットが不明確であると難しい。（松田）・そもそも受講者は、①と②の参加者は同一として考えるのか。（八木）・管理者レベルを想定せざるを得ないと思うし、現実的に3時間程度の対面研修に職員を派遣するのは難しいと考える。（成底）4.研修開催までの準備と段取りについて(八木先生)・全専研の広報営業部会にて情報公開について調査をしてもらう。（泉田）・情報公開自体の認識が不安定ではないか。（成底）・HPばかりでなくSNSまで範囲を広めて、アンケートするのはどうか（泉田）・全専研は、YIC学園の小田さん経由で依頼する。それに加えて三菱総研から事例を収集する。（泉田）・そのスケジュールで間に合うのか？（成底）・日程調整の結果では9月6日で委員会を開催することが概ね了解されている。成底さんが言われるようにこの段階ではある程度のテーマや日程などが絞り込まれている必要があると思う。情報収集の状況に応じて8月あたりにもう1度委員会を開催する必要がある。（飯塚）5.第 2 回委員会の内容について・事務局連絡等・次回までに、②の内容を具体化させる。（泉田）・フレームが決まっていないので、次回までに決定してほしい。（岡村）・次回までに委員がやることや調整が必要なことなどを決めてほしい。現状は、ぼんやりしている。（及川）・次回までに研修の案内文をベースとしたフレームを作りましょう。（成底）・第2回は8月7日（月）16：00～にオンラインで実施する。第3回は9月6日（水）13:00～15:00に東京にてハイブリッドで実施する。（泉田） |
| 配布資料 |  |

以上